外国人看護師と病院をサポートする団体の広報誌

海を越えて

2017年
夏号
8/1発刊

左より
ベトナム人看護師学生
グェン ティ リンさん
グェン ティ ヒェンさん
レ ティ トゥェットさん

特集① 医療人材国際交流協会にとって初開催となったセミナーをレポート。

看護師活用セミナー開催報告

特集② 昨年スタートしたプロジェクト。この1年について先生と生徒に聞く。

ベトナム人看護師育成プロジェクト報告

特集③ 「母国で看護師になったのに、どうして日本で看護師になろうと思ったの？」

外国人看護師Q&A

協会便り

医療人材国際交流協会による初開催セミナー

中国人看護師活用セミナー 開催報告

❖日 時／2017年2月22日（水）14:30～17:00
❖場 所／中野サンプラザ 11階 アネモルーム

2017年2月22日（水）中野サンプラザにて「中国人看護師活用セミナー」を開催致しました。
お陰様で多数の方にご来場頂き、盛況の内終了致しました。当日の様子をレポートいたします。

当日のプログラム

『開会ご挨拶』
医療人材国際交流協会
会長 **原田 雅義**
（社会医療法人東明会 原田病院 名誉理事長）

『中国人看護師採用の目的と成果』
医療法人財団興和会 右田病院
理事長 **右田 敦之** 氏

『中国人看護師活用の現場から』
医療法人社団秀仁会 櫻井病院
看護部長 **中山 智子** 氏

『日本の病院に就職して』
学校法人埼玉医科大学 埼玉医科大学病院
張 桂雲（チョウ ケイウン）さん
社会医療法人東明会 原田病院
楊 氷氷（ヨウ ヒョウヒョウ）さん

『外国人看護師プロジェクトについて』
医療人材国際交流協会
事務局長 **柿木 俊久**

『懇談会』
〈参加者〉
参加病院 法人数24／参加者数32名

真の国際社会を目指して

医療人材国際交流協会にとって、初めての開催となった本セミナー。ありがたいことに会場は満員御礼となり、〝中国人看護師〟への関心度の高さが伺えるものとなりました。

まずは医療人材国際交流協会のふたつの会員病院による講演会が行われ、中国人看護師とどのように向き合い共に働いているかをお話しいただきました。

原田会長

現役生徒も熱心

「中国人看護師採用の目的と成果」

右田病院の右田理事長からは「中国人看護師採用の目的と成果」と題し、病院経営の視点から見た、少子高齢化の中で期待される外国人看護師の活用についてお話しいただきました。労働力不足をただ単に補うためではない中国人看護師の重要性を訴えていたことが印象的でした。

右田理事長

「中国人看護師活用の現場から」

櫻井病院の中山看護部長からは「中国人看護師活用の現場から」と題し、中国人看護師を育成し活用する現場での心構えについて、プリセプターとのやりとりや教育方法、業務以外でのコミュニケーション法なども交えお話しいただきました。外国人を特別扱いするのではなく、ひとつの個性としてと

らえることの重要性を訴えていたことが印象的でした。

中山看護部長

「日本の病院に就職して」

その後、会員病院で働く現役中国人看護師からのスピーチが行われました。日本で働く一人の看護師として、自分に出来ることを考え、努力を続ける彼女らのひたむきな姿に中国人看護師の可能性を垣間見るものとなりました。『患者さんに名前をすぐ憶えてもらえるので便利です』というエピソードには会場の参加者から笑みがこぼれ和やかな雰囲気となりました。

張　桂雲さん

懇談会

その後懇談会が行われ、講師の先生方や現役看護師、日本の看護師を目指す中国人・ベトナム人学生、新日本学院の教職員と参加者の皆様との間で様々な意見交換がされました。

講師となった方々のお話はいずれも興味深く、参加者からの発言も相次ぎ、予定時間を延長しての大盛況となった今回のセミナー。予想を超えた盛況ぶりに、中国人看護師の未来と、我々に託された使命を強く感じる一日となりました。アンケートの声を見てみると、中国人看護師そのものへの気付きを得られた方や、何を実践するべきか具体的に行動計画を立てられる参加者様もいらっしゃいました。

次回開催時もたくさんの方のご参加をお待ちしております。

有意義な懇談会となった

◇南多摩医療圏病院管理研究会◇

2016年度第5回研修会でのプレゼンテーション報告

一般社団法人南多摩医療圏病院管理研究会は、60年前に設立された「南多摩地区病院事務研究会」を前身とし、現在南多摩地域の5市内に所在する50以上の病院が参加して、同地域の医業経営と運営に関する調査、研究等の事業を推進する団体です。

3月15日、当協会の会員でもある右田病院の推薦を得て、同研究会の2016年度第5会研修会に招かれ、私たちの「外国人看護師プロジェクト」を紹介させていただきました。

生産年齢人口の急激な減少の下、海外のマンパワーに期待する活動が様々な分野で始まっている中で、当協会の取り組みや実績についてお話させていただきました。

研修会の参加者は約120名と多数でしたので、会場も階段式のホールでしたが、参加者の皆様、大変熱心に私どものプレゼンテーションを聞いてくださいました。

この地域は、当協会のある福生市とも距離が近く、そのような地域の研修会でプロジェクトの紹介をさせていただけたのは大変有意義でした。これがきっかけで、今後とも同会との連携を図るべく、賛助会員として入会することになりました。

ベトナム人看護師育成プロジェクト報告

新日本学院が中国人看護師に続き、ベトナム人看護師の受け入れをスタートして1年が経ちました。

現在、新日本学院には59名のベトナム人看護学生が在籍し、日本での活躍を夢見て日々努力を続けています。

ベトナム人看護学生と、ベトナム人看護師育成プロジェクトの関係者に、この一年の歩みを伺いました。

※ベトナム人看護学生※
・グエン ティ ビッグ ハンさん（2年生）※後列左
・チャン ティ トウ ヒエンさん（2年生）※後列右
・ヴォン ティ ミ リエンさん（1年生）※前列左
・ホアン ゴック ランさん（1年生）※前列中央
・ドアン ティ ゴック アンさん（1年生）※前列右

Q 日本留学のきっかけを教えてください。

ハン 私は小さい頃から看護師になるのが夢でした。しかし、ベトナム国内の医療はまだまだ発展途上の段階です。そこで、医療技術が高い日本で看護師として働きたいと思い、留学を決意しました。

ラン 私はテレビで日本の医療ドラマを見たことがきっかけです。そこで見た日本の病院はとても美しく、看護師はいつも一生懸命患者さんのお世話をしていました。その姿にあこがれ、インターネットで日本について、そして日本の看護師について調べるようになりました。

アン 日本は美しく、そして安全で、ベトナム人の私にとってあこがれの国です。

Q 実際に日本に来た印象を教えてください。

ヒエン 日本は親切な人が多いですね。お店の人も駅員さんも皆優しいです。

ハン 日本は想像以上に美しく、清潔な国だと感じました。

リエン 日本人の挨拶の丁寧さには驚きました。初めて日本のショッピングスーパーに入ったとき、何人もの店員さんに「いらっしゃいませ」と声をかけられるので、最初は慣れずに恥ずかしい気持ちでした。

Q 新日本学院での生活はどうですか？

アン 日本語の勉強はとても楽しいです。先生方は親切になんでも教えてくださいますし、困ったことは相談にのってくれます。クラスメートと励ましあって、がんばっています。

ヒエン 漢字の勉強が大変です。漢字にはいくつもの読み方があるので、奥が深いです。

毎年大盛況のスポーツ大会での一コマ

リエン 私は看護コースの先輩と一緒に学生寮に住んでいるので、来日当初からいろいろサポートしてもらっています。

ラン 学校では、日本語の勉強以外に日本のマナーやルールも教わっています。先日は、ボランティア活動に参加し、地域の皆さんと一緒にゴミ拾いや植栽活動に参加しました。最初は緊張しましたが、徐々にコミュニケーションをとることができて、とても楽しかったです。

Q アルバイトはいかがですか？

ヒエン 私は病院で入浴介助のアルバイトをしています。医療にかかわる仕事ができるのはとてもうれしいです。日本語やコミュニケーションなど、す

べてが勉強になります。

ハン　入学してすぐのころは、勉強とアルバイトの両立が大変でした。きちんと計画を立てて勉強することが大切だと分かりましたね。

Q　これからの目標を教えてください。

アン　私の当面の目標は、12月のN2試験に合格することです。夏休みも頑張って勉強します！

ハン　日本の看護師になることはもちろんですが、私たちの働きを見て、日本の病院がこれからもベトナム人を採用したいと思ってもらえるように頑張りたいです。後輩のためにも立派な看護師になりたいと思います。

ヒエン　私も、ベトナムを代表して日本に来ている、という気持ちでがんばります。

ボランティア活動（ゴミ拾い）にて

◆表紙撮影裏話◆

今回の『海を越えて』は、新日本学院に在籍中のベトナム人看護学生3名に、ベトナムの民族衣装である『アオザイ』を着てもらい撮影を行いました。足場が悪い中での撮影でしたが、身体にぴたりと合った着慣れたアオザイに身を包み颯爽と笑顔でポーズを決める学生たち。その可憐さは通りかかりの人も魅了したようで、たくさんの方から声をかけていただきました。

ベトナム人看護師担当教員インタビュー

新日本学院
看護Y3クラス担当 日本語教員
濵田 優子先生

ベトナム看護学生の担任になり、まず最初に驚いたのが授業に臨む意識の高さです。情報量の多い授業でもしっかり集中して学習しています。質の高い質問が出たり、機転の利いた文章作りができたり、今後も期待が持てるような、内容の濃い授業ができています。

皆、真面目でしっかりしていて、自分を律することができる学生が多いように感じます。疲れや不安など、マイナスな気持ちを顔や態度には出さず、感情のコントロールが上手にできるので精神的な強さがありますね。やはり大学を卒業していますし、病院勤務経験のある学生もいるのでしっかりしたバックボーンを持っているように思います。

ベトナム人は、謙虚さであったり衛生観念などの感覚が日本人に近く、日本人に受け入れやすく馴染みやすい気質があると、肌で感じています。それは今後彼女たちの武器になるでしょうし、評価される部分だと思います。初心を忘れずに、自身の持っている良さを無くすことなく今後も頑張ってほしいですね。こちらも彼女たちの頑張りに常に刺激をもらいながら、ともに成長していきたいと思っています。

新日本学院
看護D3クラス担当 日本語教員
中嶋 由起先生

ベトナム人看護師育成プロジェクト発足時、一番の懸念事項であった非漢字圏であることのハンディキャップですが、学生が体系的に漢字を学ぶことができるようカリキュラムを工夫しました。1年間の積み重ねが着実に力になり、今では漢字テストで中国人学生より高得点を取る学生もいます。私が担当しているクラスは、中国・ベトナムの混合クラスですが、特にベトナム人だからといって特別扱いをすることもなく同等に授業をしています。それも、彼女たちが、漢字の苦手意識を克服しコツコツ勉強をしてきた結果だと思います。休み時間中に漢字を自習している学生をよく見かけますが、自身の課題を把握し、その解決に向けての道筋が描けているのだと感心します。初めから漢字においては劣っていることが分かっているので、頑張りが違いますね。

何事も熱心に、着実にこなしている点は、やはり日本人の感覚と似ているのかなと思います。教師との関係性も良く、自分の意志で勉強をしたい、学びたいと思えるような関わりができるよう心掛けています。彼女たちの一生懸命な姿勢を見ていると私自身も身が引き締まる思いです。

外国人看護師Q&A

『海を越えて』を読んだ方から寄せられる質問の中で、数多くいただくものにお答えいたします。

◇◇外国人看護師に聞きました◇◇

「母国で看護師になったのに、どうして日本で看護師になろうと思ったの？」

呉徳恵（ごとくえ）さんの場合

（新日本学院2年生・2016年1月来日）

私は大学卒業後、中国で看護師として働いていました。中国における看護師の業務内容は、診療の補助が主で、患者さんの生活サポートやケアといった部分はあまり発展していません。しかし、本来の医療の姿は、患者さんに寄り添うことにあるのではないかと考えるようになりました。日本で本来の医療の姿を見て、学びたいと思い、日本留学を決意しました。「なぜ、日本に」と両親は心配しましたが、私の熱意を理解し今ではサポートしてくれています。

日本で、早く一人前の看護師になることがいちばんの親孝行だと思っています。

王雪霞（おうせつか）さんの場合

（新日本学院2年生・2016年4月来日）

私は子供のころから、何の変哲もない道を歩いてきました。看護師になろうと思ったのも、就職に有利だからです。しかし、大学1年のときにこのプロジェクトに出会い、日本で看護師として働く道があることを知りました。これこそ、自分の人生の大きなチャンスだと思いました。今まで考えもしていなかった、大きな道がある、大きな可能性があることを知り、このチャンスにかけてみようと思ったんです。それから、一生懸命日本語の勉強を始めました。看護師を生涯の仕事として、日本の病院で、日本人の看護師と同じように頑張りたいと今思っています。

楊 雪倩（ようせっせん）さんの場合

（新日本学院2年生・2016年4月来日）

人にやさしくありたいと思い看護師の道を志し、大学1年生のときにこのプロジェクトを知りました。日本の漫画やアニメがきっかけで、幼いころから日本に興味があったので、このプロジェクトを知ったときは、胸が躍りました。それからは一生懸命日本語を勉強しました。

日本の医療は緩和ケアなどが充実していて、人にやさしい医療だと思います。患者さんに名前を憶えていただけるような、そして名前で呼んでいただけるような看護師になりたいと思っています。

ひとこと

新日本学院
看護Y2A／Bクラス担当
日本語教員・現役看護師
淺田 純子先生

彼女たちが日本の看護師になろうと思ったきっかけを、今回初めて聞くことができました。

みんな、取り繕うことなく、「実は…」という前置詞がありながらも、思いのままを話してくれました。そこには、当たり前のことですが、皆それぞれの思いがありました。

私自身、看護師として働きながら、日本語講師の道を志し、今に至ります。

「看護師」という職は世界各国で自分を活かすチャンスや可能性を与えてくれるものであると改めて感じました。

もちろん中国と日本とでは、言語を始め、勤務体制や病院のシステムなど様々な違いはありますが「看護のこころ」は世界共通だと思います。

学生たちには、「日本の看護師になる」という夢に向かって邁進してほしい、そしてたくさんの人との出会いや経験を通して成長していってほしいと思います。

新会員病院紹介

医療法人社団愛語会 要町病院

【概　要】
名　　称：医療法人社団　愛語会　要町病院
所 在 地：東京都豊島区要町1-11-13
開　　設：昭和32(1957)年
病 院 長：吉澤孝之
交　　通：東京メトロ有楽町線、副都心線で「要町駅」下車、徒歩1分。池袋は、新宿、渋谷と並ぶ山の手3大副都心の一つであり、要町は隣の駅に位置しています。
病　床　数：150床（内科中心の混合病棟：3病棟）
診 療 科：内科・呼吸器内科・循環器科・神経内科・緩和ケア科・外科・整形外科・泌尿器科・麻酔科・ペインクリニック・形成外科・腹水治療センター

【関連施設】
・要クリニック：睡眠時無呼吸症候群検査外来
・要第2クリニック：腹水治療・禁煙外来・睡眠時無呼吸症候群外来

【入会の動機】
池袋は日本語学校や中華系の店が多く、アジア系外国人が多数、居住している街です。近年当院を受診される外国人は増加傾向で、特に中国人を主体としたアジア系外国人が多くなっています。当院では緩和ケアに取り組んでいますが、がん終末期の中国人患者の入院も増えています。終末期医療では家族ケアが重要なポイントであり、外国人の思いや習慣を知ることで互いに理解し合い、より良い医療・看護が提供できると考えています。また外国人看護師はたいへん勉強熱心と伺っており、一緒に働くことで私たち日本人看護師にも刺激となり、互いに向上して行きたいという思いから入会させていただきました。

【医療人材国際交流協会への期待】
中国人の方に限らず、ベトナムの方も多いと伺いました。さまざまな風土や習慣の違いなど、戸惑うこともあるかと思います。日本で看護師として活き活き働いて頂けるよう、受け入れ体制にも力を入れたいと思いますが、卒業後の相談窓口のご協力を宜しくお願いします。そして。当院の基本理念である「和顔愛語」の精神で笑顔をもって患者さんと接することのできる看護師のご紹介をお願いします。

医療法人 美篤会 中原病院

【概　要】
名　　称：医療法人　美篤会　中原病院
所 在 地：〒299-2703
千葉県南房総市和田町仁我浦19番地1
開　　設：平成11(1999)年7月1日
代 表 者：理事長　中原　和徳
私たちの使命：「優しさを看護と介護でつつみこむ医療グループ」
交　　通：JR内房線　和田浦駅より徒歩5分
診療科目：内科、耳鼻咽喉科、整形外科、泌尿器科、消化器内科、小児科、リハビリテーション科、美容外科
病　床　数：109床(医療療養85床、介護療養24床)
機　　能：外来、入院、人工透析（ベッド34床)、通所リハ、訪問リハ
関連施設：グループホーム4ヶ所(6ユニット)、居宅支援事業所、サービス付き高齢者向け住宅(49戸)、通所介護事業所1ヶ所

【入会の動機】
看護師不足をなんとか改善できないかと、色々な手段を講じている中、医療人材国際交流協会さんからのお知らせをいただき、是非お話をうかがってみたいという事で話がすすんでいきました。当院では以前、中国人で日本語学校に通いながら日本の看護師を目指す人を受け入れておりましたが、残念ながら試験に受からず入職には至りませんでした。今回お話をうかがい、すでに中国の看護師であり日本語検定N１所持している生徒が多数いること、日本の看護師資格の合格率の高さ、協会への信頼性が十分もてると判断し入会させていただく事となりました。当法人内には外国出身の職員が多数おり、中国人看護師を受け入れるには抵抗がありませんでした。

【医療人材国際交流協会への期待】
入会する前に生徒さんと懇談の時間をいただきました。とても明るく日本で働く事に意欲があり、当院に入職し力になってくれると感じました。来日し１年ちょっとで日本で仕事を行うという不安もあると思います。永く当院で働いていただけるよう、受入体制をしっかりし整えていきたいと思います。中国出身以外にもベトナム出身の生徒さんもいらっしゃるようで、日本で活躍する外国人の育成、人材紹介を期待しています。

透析室

医療法人社団 永生会

永生病院新館

南多摩病院新館

【概　要】
名　　称：医療法人社団永生会
所 在 地：東京都八王子市椚田町583-15
開　　設：昭和48年4月
代 表 者：理事長　安藤高朗
永生会理念：人々に質の高い、安心な、やすらぎにあふれた、リハビリ・マインドのあるヘルスケアサービスを提供します。
リハビリ・マインド：医師、看護師、リハビリスタッフ等専門職のみならず、永生会の全職員が、患者様・利用者様の社会生活をサポートします。

【基本方針】
・ヘルスケアの質の向上を目指します
・満足度の向上を図ります
・健全経営の維持に努めます

【永生会のビジョン】
医療と介護を通じた街づくり・人づくり・想い出づくり
街づくり：地域包括ケアの具現化
人づくり：人「財」の獲得、キャリア・アップ・システムの構築、人事考課制度の充実・進化
想い出づくり：医療と介護のおける信頼の創造

【永生会法人関連施設・関連会社】
永生病院・南多摩病院・永生クリニック・クリニック0(ゼロ)・介護老人保健施設(イマジン、マイウェイ四谷、オネスティ南町田)・グループホーム「寿限無」・訪問看護ステーション(めだか、とんぼ、ひばり、いるか、口笛)・居宅介護支援事業所(ケアプランセンター「えいせい」、居宅介護支援事業所「片倉」、ケアプランセンター「ぴあの」)・八王子高齢者あんしん相談センター(片倉、寺田)・病児保育室「はる」・永生会協力会社(在宅総合支援サービス「十字会ケアステーション」)

【入会の動機】
永生会は急性期から在宅まで切れ目のない医療・介護サービスを提供しており、ビジョンは「街づくり・人づくり・思い出づくり」です。永生会を利用する全ての方々に満足していただくためには、よき人(職員)が集まることです。永生会に属する永生病院は、2009年から外国人看護師の育成・教育を開始し、フィリピン人・ベトナム人の看護師が活躍しています。2年前の研究でも、異文化コミュニケーションが良好であるとの結果を得ました。国籍に関わらず、患者様やご家族様に信頼される看護師は施設の財産であり、異文化に触れることで日本の看護の質の向上にもつながると考える中で、医療人材国際交流協会の活動を知り入会させていただきました。

【医療人材国際交流協会への期待】
雇用する側・される側どちらもWIN-WINの関係が重要であると考えています。学習意欲の高い学生が多く、また中国は漢字圏であることから日本語での学びも深まっていると思います。日本の高齢化社会を共に担う看護師の育成は、これまでの経験を生かし我々も努力いたしますが、国際交流協会の資格取得や看護師として働くための基盤つくりには大きな期待を寄せています。

様々な活動の一部をご紹介します

協会便り

定時社員総会開催

5月31日昭島市にて第4回定時社員総会を開催しました。

今年の主テーマは「理事会の設置」でした。定款を変更したうえで、5人の理事（再任を含む）と監事を選任し理事会を発足させました。この6名のうち4名は会員病院の理事長・名誉理事長が就任しました。

病院の声を外国人看護師育成にしっかりと反映できるプロジェクトにしていくため、今後は、新しく発足した理事会中心の運営にしていくことを全員で確認し閉幕しました。

2017年度第1回面接会始まる

2018年4月入職を目指す学生に対する2017年度第1回面接会が6月14日の病院説明会を皮切りにスタートしました。今年は、該当する学生が40名を超えると予想されるので、6月から7月にかけて実施する第1回と秋に開催予定の第2回の2回の大型面接企画を予定しています。今回参加した病院は13、学生数は29人です。

病院説明会→一次面接→二次面接と、面接会は7月28日の内定発表まで続きます。自身の将来が決まる大切なイベントに、学生たちは緊張感をもって真剣に臨んでいます。

卒業生が病院に入職

4月1日、新日本学院の21名の卒業生が9病院に就職しました。これで、新日本学院看護コースを卒業して日本の病院に就職した外国人看護師は、累計で65人（正看護師54人、准看護師11人）となりました。

毎年入職当初は、ほぼ全ての看護師が「病院における会話」「看護記録」など日本語力の問題、「日常生活援助」「アセスメント」など本国の看護のやり方と異なる日本の看護に戸惑いますが、病院の手厚いフォローと初心を忘れない努力で多くの先輩が一人前の日本の看護師に育っています。新米、頑張れ！

CHCコラボレーション

5月1日付で株式会社シーエイチシーとの間で業務委託契約を結びました。同社は、すでに当協会会員となっている東京リバーサイド病院および永生会（永生病院、南多摩病院）を含む都内近郊の二十の会員病院を抱え、経営コンサルティング全般やIT化支援、物品什器の共同購入、職員研修や交流会などの事業を行っています。

本業務委託契約は、同社のサービスに「外国人看護師の採用」というメニューを加えていただき、同社の会員の当協会への入会の促進と相互交流を図るものです。優秀な学生が増加する中、外国人看護師に理解のある病院会員の一層の拡大が期待されます。

株式会社 シーエイチシー ロゴマーク

医療人材国際交流協会のホームページを開設しました　ホームページはこちら▷http://iryojinzai.or.jp/

一般社団法人 医療人材国際交流協会 会員病院一覧（入会順）

※2017年7月1日現在

会員法人	所在地	病院	入会年度
社会医療法人　東明会	埼玉県入間市	原田病院	2013
医療法人社団　秀仁会	東京都あきる野市	櫻井病院	2013
学校法人　埼玉医科大学	埼玉県入間郡毛呂山町	埼玉医科大学、国際医療センター、総合医療センター、丸木記念福祉メディカルセンター	2014
医療法人社団　徳風会	千葉県山武郡芝山町	高根病院	2014
医療法人財団　興和会	東京都八王子市	右田病院	2014
公益社団法人　東松山医師会	埼玉県東松山市	東松山医師会病院	2015
医療法人　三矢会	千葉県八街市	八街総合病院	2015
医療法人　瑞穂会	埼玉県川越市	城南中央病院、川越リハビリテーション病院	2015
社会医療法人社団　正志会	東京都荒川区	荒木記念 東京リバーサイド病院	2016
医療法人社団　健育会	東京都板橋区	熱川温泉病院、西伊豆健育会病院	2016
医療法人社団　愛語会	東京都豊島区	要町病院	2017
医療法人　美篤会	千葉県南房総市	中原病院	2017
医療法人社団　永生会	東京都八王子市	永生病院、南多摩病院	2017

海を越えて　2017年夏号
2017年8月1日発刊
発行元：一般社団法人医療人材国際交流協会　住所 〒197-0013 東京都福生市武蔵野台1-3-2　TEL 042-513-7620
制　作：株式会社エア・デザイン　http://www.airdesigns.co.jp